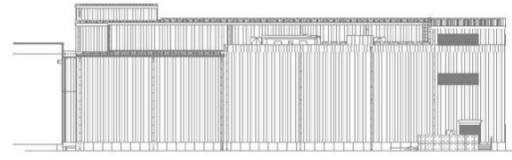


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JA全農青果センター 新センター計画	階数	地上3F
建設地	平塚市東八幡五丁目1005の1他6筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年12月19日
敷地面積	6,651 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社フジタ
建築面積	3,596 m <sup>2</sup>	確認日	2025年1月30日
延床面積	9,639 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社フジタ



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 86% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 86%

④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.9**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	JR東海道本線平塚駅から車で9分の工業専用地域に3F・S造の青果物配送センターを計画した。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	給水管: PEP(B)、汚水排水: VP(B)、雑排水: VP(B)、Eは不使用。階高3.9m以上。壁長さ比率0.1以上0.3未満。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	特になし	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> = 0.80	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水コマに加えて、節水型便器を採用。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。再利用できるユニット部材であるフリーアクセスフロアーも採用している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	燃焼機器の使用がなく、大気汚染物質を全く発生しない。広告物照明を行っていない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される